

湘南にのみや 議会だより

防災・気象警報・避難情報など

町内放送が聞こえないときは
自動音声の**電話**で情報ゲット

72-0039

ゴロ合わせで覚えましょう

なに？ おお！サンキュー！



今議会では防災に関する質疑が多くありました。
町の「防災情報メール」をご登録ください。
QRコードを読み空メールを送信！！

当初予算から 想定外の波乱はあったが… 決算は可決 9対3

会計名	平成30年度歳出決算額	平成29年度対比
一般会計	77億2,410万5,658円	△3億7,312万9,068円
国民健康保険	31億5,700万7,615円	△5億6,324万4,422円
後期高齢者医療	8億6,669万7,271円	△464万9,803円
介護保険	24億9,423万9,845円	1億4,340万5,557円
下水道事業	9億4,421万1,525円	1,300万5,864円
前年度比	一般会計は4.6%の減	総額では4.9%の減

平成30年度の一般会計が平成29年度より減額となったのは、平成29年度に予想外の高額納税があったことが主な要因。

想定外ってどんなこと？ 学校の全教室へのエアコン設置、職員の時間外手当未払対応、消防職員のハラスメント処分、役場新庁舎の検討委員会の委員会報償費、公共施設・学校の修繕など。当初予算とは別で発生した問題により、波乱に満ちた平成30年度であった。



注目の 賛成×反対討論

※本人の原稿をそのまま掲載

反対 連続黒字で生んだ財源はくらし・教育に 渡辺 訓任

新庁舎整備の現状では、業務改善計画の実効性を高める必要あり。働き方改革は位置づけが弱い。剰余金の一部で生活道路改修、国保税減額等ができたのでは。子育てワンストップサービス接続は町民要求に沿わず止めるべき。小中学校特別教室のエアコン設置、病後児保育開始等は評価。

反対 高い町税収納率評価、働き方一部不透明 松崎 健

歳入確保に向けての町税、とりわけ主要4税目の高い収納率、乾いた雑巾を絞るような更なる対応を評価するも、血税の適切な使途、働き方改革が叫ばれる中での人件費の妥当性を審査するも確認できず。引き続き血税は町民の理解が得られる「働き方」に使われているか要検証。

反対 当初予算は課題多く補正予算は目に余る 露木 佳代

30年以上の時間外勤務手当の未払いが明るみになったこと、遅延損害金の受け取りを職員に選択させたこと、働き方改革の計画がないこと、コミュニティ・スクールの準備不足、3回のみ実施された町民参加の庁舎検討会、人員不足や訓練のPDCA※未実施が招いた消防力の低下などにより反対。

※P(計画) D(実行) C(評価) A(改善)を一連のサイクルで回すこと

賛成 更なる住民の生活圏域に幸せ育む計画を 一石 洋子

町の未来は当事者一人ひとりに向き合い聴く職員のチームとの協働のまちづくりにある。町民活動は自立を言い立てるよりも価値を見立て推進を。学校は大胆な変革と人材、教育主事増を。新庁舎、学校統合は未来を我事とする子どもを中心に据え、知恵を集め検討する仕組みと計画作成を。

賛成 正しい運営には思えないが今後を見る 大沼 英樹

数々の不祥事は町のイメージを損なう重大な問題。他人のせいにするような無責任ではいけない、要望を無視し、予算を故意に余らせて行政を行うのなら町民を欺く町政と言われてもおかしくはない。庁舎や学校の計画も都合よく集めた意見を誇示して表現するのが慣例なら止めるべき。

賛成 切れ目のない子育て支援や通いの場評価 小笠原 陶子

「にのみやLife プロモーション事業」を推進し、定住人口の確保に町民と共に努力した。30年度は転出より転入が28人増加。自殺対策計画も策定されたが、実効性ある事業実施を望む。ごみ減量は資源化を進めCO₂削減に努めよ。通いの場を実施し町民協力のもと順調。各集会所の整備を急げ。

賛成 長年固定化され続けてきた事業を整理 根岸 ゆき子

自殺対策計画の自前作成で民間委託依存脱却。補助金・交付金制度を見直し既得権益でなくルール化で統一。旧駅前会館解体を実行。無料の駐輪場を1か所閉鎖。百合が丘サロンを中里サロンに統合し子育て世代に寄与。し尿処理等下水道投入工事に着手。職員の時間外手当清算。

平成30年度 決算審査意見

- ① 小中一貫教育については、プロセスを可視化し、効果や教職員の負担を把握しながら議論されたい。
- ② 地域集会施設の老朽化は、再編を含め、スピード感をもって取り組まれたい。
- ③ 旧国立小児病院跡地は、活用方法を早期に提案されたい。
- ④ 生活道路・通学路の修繕は、優先順位をリスト化し、順次手当されたい。
- ⑤ 防災訓練は、町民参加型かつ実効性のある企画を検討されたい。
- ⑥ 公共施設予約システムは、利便性・公平性が確保されるよう改善されたい。
- ⑦ 「働き方改革」は、職員間の信頼関係を強化し、目標を明確にして推進されたい。

平成30年度決算審査特別委員（7名）：善波 二宮 松崎 杉崎 小笠原 渡辺 根岸

平成30年度 予算審査意見 はその後どうなった？

学校教育環境の計画的な整備のため、ハード・ソフト両面で十分な予算確保を求める。特に学校施設の雨漏り、修繕は急がれたい。

猛暑の影響や、陳情により、国の補助を活用し、全教室にエアコン設置。二宮中学校屋上の雨漏りや山西小学校の渡り廊下の窓枠修繕など、早急に対応した。

認知症総合支援事業に関する施策は、先進自治体の取り組みを参考に、積極的な実施・推進を求める。

初期集中支援チームを立ち上げ、支援につなげた。認知症サポーター養成講座を年4回開催、69名受講。誰でも気軽に相談できる“にのんカフェ”を開催。ケアパス、あんしんガイドブックも作成済。

新役場庁舎整備については、情報を開示し、町民意見の集約を図りながら進められたい。

令和元年5、6月に再度町民説明会を開催。同年5月に新庁舎基本構想・基本計画（案）見直し。情報は随時HPに掲載。

追跡調査



二宮町子ども大人も輝く心身きり健康づくり条例の理念に則り、今後の予算化も含めて推進されたい。

関連の2課を1課（子育て・健康課）に編成。子育て世代包括支援センター（にのはぐ）と未病センター（延べ1,301人が利用、60～70代が多い）を設置。

町民の安全・安心を確保するため、歩道の新設を含め道路整備の予算を確保し、計画的に進められたい。

5年に1回、健全度調査を行い、補助金、交付金の活用に合わせて、地区要望にも対応した予算を計上。

各種計画策定は、外部委託に安易に頼らず、職員が主体的に取り組むよう求める。

当初コンサル委託予定（約290万円）だった自殺対策計画は職員が策定。その他の計画はコンサル活用。

限られた人員の中で、消防署の体制と人員配置について検証を行い、消防力の維持・向上を図られたい。

突発的な研修や休みに対応できる勤務体制にするため、3部制から2部制に戻し、消防力の維持につなげている。

袖が浦プール・山西プール・町民温水プールの存続・廃止の議論に当たっては、町民意見を反映されたい。

3つのプールの意見交換会を開催後（参加者37名）、温水プールと山西プールは施設を維持。袖が浦プールは早期の廃止を決定したが、議会は廃止条例を否決。町は引き続き、町民と意見交換を進める。

平成30年度決算



日本共産党
渡辺 訓任

黒字財政を活かし
生活密着の温かいまちづくりを

Q 新庁舎整備が進まない中で、発災時の業務継続計画は町民・職員のいのちと暮らしを守る鍵。施設整備・運用両面で実効性あるものに。

A 「誰一人取り残さない」という立場で、発災時の代替施設や資機材の確保などを年内には業務継続計画に反映し、随時見直しを進める。条例化を含め制度上の位置づけも研究する。

Q 小中一貫教育校には問題も指摘されており、今後の展開をどう考えるのか。

A 小規模校や小中一貫教育は、メリットを伸ばし、デメリットを小さくする方向で、二宮らしい小中一貫教育校の設置を目指す。

Q 子ども・子育て支援施策など制度上の前進は評価するが、小児医療費助成の所得制限撤廃や国保税の減額など経済的支援が必要では。

A 子育て支援の制度はまだ不十分で課題解決型施策が重要。給付型施策については国・近隣自治体の動きも注視し、検討する。

Q 庁内の働き方改革は進んでいるのか。

A 状況の把握を行い、繁忙状態が一過性のものでなければ応援態勢を取るなど工夫をしている。

Q 町経済の活性化・雇用の拡大の取り組みは。

A 創業支援・信用保証を拡大、町内事業者の受注機会の増加は法令範囲内で配慮。

Q 8億7千万円の一般会計財政調整基金。村田町政で4年連続の黒字。一部を生活道路改修、教育など身近な要望の実現に使ってほしい。

A 当初予算で大切な事業に予算を充てる一方、緊急事態にはしっかり対応する。子育て施策・公園整備など、目に見える目標を持った財政計画を立て予算を充てていく。



子どもたちに
“いのちと暮らし”
育てる町を託したい



神奈川ネットワーク運動
一石 洋子

持続可能な未来に向けた
勇気あるアクションを求める

Q 日本社会は大人本位で子どもの視点が欠如。子どもの生活圏域を検証し、居場所や遊び場を配置し多様なかかわりが生まれる当事者参加型の町づくり、乳幼児生活圏域と高齢者生活圏域の重複する生活の質に真に向き合うデザインを。

A 子どもの声を聴き、官民情報を共有する。子どもの遊び場は公園統廃合に沿って整備する。0歳から18歳までを支えつなぐことが重要。行政計画に子どもの目線を入れる研究をしたい。

Q 学校のあるべき様を当事者一人ひとりの声を聴き変革する期。大人たちのとらわれが子どもの生きづらさを生む。オランダのイエナプランを採用する公立学校設置等先進事例がある。特色のある真に新しい学校を一つ作ると全体に新鮮な風を送る。本気で新しい学校を創る勇気を。

A 教育委員会とともに学んでいきたい。ニーズも理解。もう一つの学校は市民がつくるべき。

Q 自然風土に関わる多様な町民活動をSDGs*に位置付け、若者に対して与え参画する仕組みを。故郷の山林整備、遊休農地再生、川の清掃を協働、防災、生涯学習、中間就労の場に。

A SDGsについては総合計画に位置付けたところで多岐にわたる地球課題を二宮町の中で検討する。総合戦略会議でも若者チームの参画は実際課題。しっかり研究していく。

Q 進取の専門分野を持つ方々と意見交換し町長と共有した。新庁舎、公共施設再配置は建設的な未来への議論の場をデザイン、聴取、合意形成を。国立小児病院跡地は療育の複合施設に。

A 職員も交えて色々な場を作り意見交換していきたい。専門的な意見はぜひ聞きたい。

*持続可能な開発目標の略名



子どもたちと町の未来
を考える
ジオラマ
ワークショップ

4名が総括質疑



無所属

小笠原 陶子

町の自殺対策計画は機能するのかが
ごみ削減、臨時雇用の処遇改善を

Q 町は自殺対策計画を作ったが現状と対策は。

A 町の自殺者数は、平成24年から28年の5年間で23人にのぼり、年代別では20～30代が11人、40～50代が5人、60～70代が7人で、19歳以下、および80歳以上の方は0人。各課横断的な連携が重要で、例えば税金滞納者から相談の際、本当に困窮しているときは福祉のほうにつなげる等、ネットワーク強化を進めていく。

Q 日本のリサイクル樹脂は中国への輸出規制で
出口がなく、プラスチック海洋汚染も問題
になっている。学びを得るため、各地区でリサイ
クルセンターの見学等をしては。

A 町では計画に基づき、水分ひとしほり運動、
県のマイバッグ・マイボトルの利用促進、無
駄になるものは買わないなど、ごみの発生抑制等
の普及啓発を進め、県や地域・学校等と連携し、
イベントを通じ、継続的に行う。地区の見学会は
強制はできないがやるべきと考える。

Q 今、社会的問題の臨時雇用の働き方だが、働
く体力・気力のある方は、高齢でも正規に雇
用し、仕事にふさわしい対価を支払うべきだ。

A 現在、臨時雇用員や非常勤嘱託員の方は、地
方公務員法および地方自治法の改正で、令和
2年度から会計年度任用職員に統一される。法に
定められている義務や服務規制がかかる一方で、
雇用期間中は地方公務員としての身分保証がなさ
れる。正規職員と違い、雇用期間が会計年度ご
との最長1年となる。条件を満たせば、期末手当や
通勤手当などの諸手当の対象となり、また会計年
度を超えて再度の任用をする場合は、勤務形態に
応じて昇給もある。



平塚市 メンタルヘルスチェック
「こころの体温計」



無所属

善波 宣雄

持続性のあるまちづくりを
スピード感を持ち推進せよ

Q 今後のまちづくり計画について具体的に伺う。

A この町ならではの共生社会を築き、子どもか
ら高齢者まで「住んでいる方が楽しく暮らす
ことのできる持続性のあるまちづくり」を進めていく。

Q 公共施設(地域集会施設)の再配置計画は。

A 各施設の老朽化や、利用形態、必要性などは、
地区ごと異なる。今後の方向性についても改
修や建て替え、他の公共施設との統廃合など考えら
れ、それぞれ対応策の検討を進めている。まずは耐
震化ができていない施設を持つ地区や、複数の施設
を持っている地区から、今後方向性について個別に
協議を始めて、着実に計画を推進していく。

Q 道路整備、通学路、歩道整備は、誰もが安全
で安心して生活ができるよう適正な道路管理
を行っているのか。

A 道路および橋りょうなどは定期的に点検調査
をして結果に基づき優先順位を定め、順次改
修工事を実施している。通学路・歩道整備は、道路
管理主体の点検調査とは別に、点検パトロールによ
り道路の損傷を確認し、随時、修繕を行っている。

Q 今後開催の「まちづくり移動町長室」につい
てどのような考えか。

A 今年度、取り組んでいる事業を簡単に報告し、
地域の皆さまとの対話に重点を置き、原点に
立ち返り、幅広く意見交換する場にしていきたい。
この他に、特定のテーマについて話し合う場「テ
マ別移動町長室」と団体の会合に向いて話し合う
「団体訪問型移動町長室」があり、開催の申し込み
は常時受け付けている。



庁舎ばかりでなく公共施設再
配置もスピード感を持って！

条例改正

※カッコ内の☆番号は右ページの表と対応
表は条例案等の正式名称

森林環境譲与税基金条例 (表☆1)

手入れが必要な森林整備のため森林環境税が創設される。令和6年度から1人当たり1,000円徴収。私有林の面積や林業就業者数などに応じて市町村に分配されるが、町では交付税を木材利用に活用することを検討中。 **12対1で可決**

☑環境保護は重要だが、森林荒廃問題の国責任を曖昧にし、新税創設を前提にしている。(渡辺)

二宮町印鑑条例 (表☆2)

希望者に対し、住民票、個人番号カード等への旧氏(旧姓)記載が可能に。印鑑証明書への性別表記は不掲載に。 **全会一致で可決**

賛どのような性自認の方も心地よく暮らせる町であるよう、他部署の書類も精査すべし。(露木)

賛旧姓使用場面拡大、性的マイノリティへの対応を評価。マイナンバー利用拡大を危惧。(渡辺)

消防団員の任免等に関する条例 (表☆3)

消防団員の欠格条項から「成年被後見人又は被保佐人」を削除。 **全会一致で可決**

二宮町税条例 (表☆4)

消費税率引き上げに伴う対応。令和元年10月1日から令和2年9月30日までの間に自家用乗用車を取得した場合、環境性能割税率を1%軽減。

12対1で可決

☑地球温暖化対策としては評価。実際は消費税率引き上げの影響低減が目的と考える。(渡辺)

幼児教育・保育無償化に関する条例 (表☆5)

消費税増税分を財源として、10月から全国一斉に3歳以上の保育・幼稚園を無償化。園での一時預かり事業や、保育園待機児のファミリーサポート利用等も無料となる。制度には条件や上限額があるため、不明点は子育て・健康課へ相談を。内容の詳細は広報にのみや9月号に掲載。 **12対1で可決**

賛保護者の負担減。町も1,000~1,400万円の減になり、子どもたちの別事業に活用願う。(前田)

賛保育施設充実と保育士の処遇改善が優先だが、保育や教育の経済的格差は解消すべき。(露木)

☑無償化は評価。利用者負担が町議会を経ず決まる。原資は保育の基盤整備を優先すべき。(渡辺)

所得税法第56条廃止の意見書を国に提出することについて

陳情者：平塚民商婦人部 部長 高瀬 初江

中小業者は家族等の労働で支えられているが、所得税法第56条は「事業主の配偶者とその親族が事業に従事したとき、対価の支払いを必要経費として認めていない。家族従業者の働き分は事業主の所得となり、配偶者86万円、それ以外の家族50万円が控除されるのみ。陳情者の訴えは「家族従業者は社会保障や行政手続きなどの面で不利益を受けており、白色申告で家族の働き分を認めないことは道理がなく、差別的税制であり、所得税法第56条の廃止を求め、国に意見書を提出してほしい」

5対7で不採択

賛人権保障は重要な原理。民法、労働法、社会保障の観点からも家族従業者の労働は正当に評価されるべき。制度自体が矛盾している。(露木)

賛家父長制度時代を引きずったルールのあり方の存続は見直し、国は白色申告の必要性和56条廃止の関係性を整理した議論を進めて欲しい。(根岸)

賛家族労働者労賃を経費と認めることは人の権利の問題で、税法よりも重要。政府も男女共同参画の観点で制度見直しを求めている。(渡辺)

陳情

新 人 事



教育委員に野谷 悦氏 (67歳)

一色小学校、山西小学校、横浜国大付属鎌倉小学校教諭。二宮小学校教諭、教頭。平塚市立八幡小学校、山西小学校校長として奉職。平成27年5月より二宮小学校非常勤職員。二宮町二宮在住。 **全会一致で可決**

賛誠実な人柄で打算のない奉仕活動に専念されている。小中一貫校に関しては、行政の方針にただただ従うのではなく、教育理念・偏りのない政治理念で対応できる方。必ずや教育委員として二宮の教育行政の発展に寄与していただけるものと確信。(松崎)

人権擁護委員に二氏を選任

内田礼子氏は中里在住で新任(任期3年)
高橋克美氏は中里在住で3期目(任期3年)
全会一致で可決

Q小中一貫、コミュニティー・スクール、学校再配置が町の課題だが、これらの問題へ取り組んだ経験はあるか。

A経験はないが、山西小学校で校長を務めたことに加え、町内3小学校すべての学区を熟知されている。

補正予算

全会一致で可決

目玉はICT教育のタブレット導入

※ICT教育とは、パソコンやタブレット端末、インターネットなどの情報通信技術を活用した教育手法のこと。

教育用ICT機器借上料 (151万9,000円)

新学習指導要綱への対応と授業効果の向上を図るため、教員のタブレット端末を賃貸借するもの。補正額は151万9,000円。

来年度からは、児童・生徒用にも小学校に各80台、中学校に各40台のタブレットを導入するが、それらは来年度の当初予算で計上される予定。タブレットは教室で使うほか、課外授業でも活用したいという考え。

今回と来年度以降の「ICT教育」に関する事業は、令和6年度までの5年契約となり「債務負担行為」の認定も9月議会の補正予算の審査内容であった。5年間の総事業費は約1億8,600万円で、タブレット端末の賃貸借のほか、ICT支援員を各校に年間12回派遣し、操作指導、研修、活用計画の助言を得るための費用も含むとのこと。契約は入札。



そのほか、小中学校の雨漏り修繕費や、小学校のシャッター修繕費等が計上された。

債務負担行為ってなに？

複数年度にわたり、契約した額を支払い続ける行為。財政運営上、適正な運用が求められる。

なぜ令和元年度の当初予算にしなかったか

A 予算編成時期には、令和2年度から使う小学校の教科書にタブレットで読むQRコードがどの程度付されるか情報がなく判断できなかった。

賛成

事情は理解するが令和2年度の予算審査時には総事業費約1億8,600万円の入札は終えている。即決で債務負担行為を認定させるなら事前説明すべき。補正の審査でも説明不足。(露木)

賛成

歳入増を反映させたが、個人町民税の増は基金に積み立て、生活道路の改修などの身近なところに充てていない。ふたみ記念館運営経費を反映したが、運営方法の検討は必要。(渡辺)

各議員の議案・陳情に対する賛成・反対は？

議案名	善波 宣雄	羽根 かほる	松崎 健	二宮 節子	杉崎 俊雄	坂本 孝也	小笠原 陶子	露木 佳代	渡辺 訓任	大沼 英樹	前田 憲一郎	根岸 ゆき子	一石 洋子	野地 洋正	結果
町長提出議案名 (左側は議案番号)															
59 教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
60 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
61 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
62 二宮町森林環境譲与税基金条例の制定について(☆1)	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	可決
63 二宮町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の全部改正について(☆5)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	可決
64 二宮町印鑑条例の一部を改正する条例(☆2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
65 二宮町税条例等の一部を改正する条例(☆4)	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	可決
66 二宮町手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
67 二宮町消防団員の任免、給与、定員、服務等に関する条例の一部を改正する条例(☆3)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
68 令和元年度二宮町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
69 令和元年度二宮町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
70 令和元年度二宮町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
71 令和元年度二宮町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
72 令和元年度二宮町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
73 平成30年度二宮町一般会計歳入歳出決算の認定について	欠	○	●	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	可決
74 平成30年度二宮町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
75 平成30年度二宮町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	可決
76 平成30年度二宮町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
77 平成30年度二宮町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情名 (左側は陳情番号)															
10 所得税法第56条廃止の意見書を国に提出することについての陳情	欠	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択

※議案について、○は議案に対する賛成、●は反対したことを意味しています。
 ※陳情については、○は採択、●は不採択です。
 ※議長は採決に加わりません。

一般質問

議員名	通告書件名
前田憲一郎	二宮町立小学校・中学校の充実した学校教育の展開について問う
二宮 節子	①小中一貫教育における学校の配置について ②認知症の見守り強化
大沼 英樹	町財政の状況と運用について
松崎 健	①村田町政の政治姿勢について ②バリアフリー化による交通弱者対策
露木 佳代	①地震が起きた際の、業務継続計画（BCP）について ②公共施設予約システムについて

一般質問は、大事な議員活動の一つです。二宮町議会は一問一答方式であり、議員の制限時間内（1件なら40分、2件以上は60分）の質問であれば何度も自由にできます。記事は本人が作成し、議会での発言および記事内容は、各議員の責任となります。



Q 外国語教育の充実、コミュニティ・スクール運営の促進はすすんでいるのか。
A 外国語教育については、全国学力学習状況調査で、優秀な成績を収めることができた。これまで英語に親しむ活動を続けてきたことや、英語を話す場面設定など、生きた英語を教える授業づくりの成果でもある。町内すべての学校がコミュニティ・スクールとなり、各学校運営協議会が地域特性や地域資源の把握をしながら、地域と学校の連携を深めようとしており、一歩一歩着実に進んでいる。
Q 児童生徒の体力・運動能力の現状はどうか。
A 全国体力・運動能



問
充実した学校教育の展開について

答
学校教育をより充実させていく

力等調査において、小学生は男女とも合計点で全国平均を上回り、中学生は概ね全国平均に近い点数ではあるが、やや下回る結果である。
Q 神奈川県内では、平成29年度の児童生徒のいじめ認知件数が激増している。二宮町の現状はどうか。
A 平成28年度は、小学校51件、中学校24件であったが、平成29年度は小学校19件で32件の減。中学校14件で10件の減となっている。ただし、平成30年度は、中学校が51件と増えている。



二宮小学校体力テスト

Q 各学校の教材・教具保有数を見ると文部科学省が出している基準数に対し不足していると思うが、ICT機器をはじめ、教材・教具は充実しているのか。
A ICT機器の導入は着実に進んでいる。その他の教材・教具も必要なものは予算要求し整備していく。
Q 学校再配置実施計画の策定の進捗状況はどうか。
A 課題の整理や、ケースの絞り込みなどを行っている。
Q 学校ごとにホームページを作成しないのか。
A 学校の負担を増やさない方向でホームページ作成を進めていく。



二宮 節子
公明党

問

① 学校の配置について
② 認知症の見守り強化は

答

① 小学校区に一つの学校案を
② QRコード導入を検討

① 学校の配置について

Q 10年後の施設一体型小中一貫教育校、2施設4校(案)と長寿命化計画は、二宮町公施設再配置・町有地有効活用実施計画と整合は取れているのか。
A 長寿命化のための調査前に統合される学校名も出ている。
Q 小中一貫教育校としては学校の縮減をするが、既存施設活用のため、長寿命化計画は5校を行う。公共施設再配置計画を踏まえ計画策定を進めている。
Q 床面積が多い学校から公共施設削減に手を付けたという思いか。
A そうではない。一貫教育校が先にあり、その中で学校統合という流れになる。

Q 統合時の通学支援の説明が少ない。「状況に応じた支援」とは。
A 通学距離による財政負担は今後の説明時には具体的に示す。

Q 有効活用と今後の避難所について聞く。
A 廃止の学校は施設の利活用を位置付け、避難所としても存続。

Q 町民説明会での意見反映は。
A 3小学校区に1つの学校を残す案をベースに意見交換会に臨む。

② 認知症の見守り強化

Q 認知症状は早期発見に効果があるとされるが、発症後の行方不明者数は増加傾向。町の相談件数は。
A 認知症のみの相談は、年度によりばらつきがある。認知症を含む

Q 総合相談は増加傾向。
A 気づきにつながる「見守りチェックシート」のHP掲載は。
A HPにはリンクし、協力してくれる店舗、民生委員へ配布する。

Q 連絡先など(個人情報配慮)が読めるQRコードを印刷したラベルを衣服や持ち物に付けることで行方不明時の検索に有効であるが導入は。
A 近隣と連携しながら研究を進める



二宮町でもラベルの導入を!(愛川町HPより)

問

予算がないと言われる町財政、お金はいくらあるか

答

一般会計に属する基金11億円強
基金全体で19億円強

Q 県内の市町で28番目の財政順位。未来へ投資が必要では。
A 最小の経費で最大の効果を目指している。

Q 学校に設置したエアコン予算4億円に対し、3億円の執行となつた。残り1億円で他の事業ができないか。
A 予算額と実費の差を正確に出すのは難しい部分もあり、各課と査定からぎりぎりの線を見出している。

Q 日頃お金がないという理由で我慢を強いてないか。サービスを削り、余りのお金を基金に積んでいるとしたら町民は怒ると思うが、お金はいくらあるか。
A 一般会計に属する基金は約11億円、その他の基金合わせトータルで19億円台ある。

Q 未来へ投資がなければ子どもや転入者に夢や魅力がないのでは。
A 環境整備は必要だと考えている、積極的な子育て支援をする。

Q 災害対策本部にしかならない庁舎計画は即刻廃止、改修費がかさむ学校統合は見直し補助のある学校新設、町民に安心、安全な集会所、避難所を整備し、未来ある町づくりに目をむけてはいかがか。
A 住環境、子育て、学校の議論は進めていくが庁舎は後回しにできない。町民ニーズを受け止め、未来に続くまちづくりをする。

Q 市町村役場緊急保全事業の期限ありきで事業を行うのは、やめるべきでは。
A 期限ありきではなく、庁舎整備基金をさらに積み重ねるというのには理解するが交付税は有効解するが基本設計に進むだけ8千万円もの大金がかかる。賛否が分かれる未熟な計画ではなく実効性を求めたい。

Q 議会・職員と基本構想を進めてきた。要望 欺く節があるなら改め、町民の暮らしを守り笑顔の町創生のため、高額な庁舎は再検討し、賛成大多数となる町政運営を求む。
A 期限ありきではなく、庁舎整備基金をさらに積み重ねるというのには理解するが交付税は有効解するが基本設計に進むだけ8千万円もの大金がかかる。賛否が分かれる未熟な計画ではなく実効性を求めたい。



災害時、身を寄せるのは集会所!庁舎ではありません



松崎 健
無所属

問

- ① 聖火リレーの誤報はなぜ
- ② 交通弱者対策とバリアフリー

答

- ① 県議からの情報
- ② 重要性は認識している

を感じている他の自治体も一緒だと思う。

② バリアフリー化

Q これまで私は「自動車による交通弱者対策」に取り組んできたが、道路運送法が解決を阻む。また民業圧迫によりバス路線撤退を招き、事態を悪化させかねないジレンマを感じる。免許返納後の「自動車によらない」移動手段には電動アシスト自転車や電動カート（以下カート等）が考えられるが普及妨げの原因にインフラ未整備がある。町内歩道の段差解消（以下バリアフリー化）はどの程度進んでいるか。

A 大きく捉えると二宮駅周辺のみ。

Q カート等により交

Q 職員からある事について「一般質問しないよ」「内容によっては議員活動に支障をきたす」と言われたが。

A 執行機関と議会は独立対等。質問をする、しないは議員の判断。質問により活動に支障をきたすことはない。

Q 新聞発表後、町長が「聖火リレーは二宮を通る」と誤った説明をしたのはなぜか。誤りを訂正しないのか。

A 県議から聞いた。二宮が外れた事は、既に町民に伝わっている。

Q 町長は訂正謝罪すべき。さて、黒岩知事は聖火リレーコースに關し二宮にとつて屈辱的な発言をしている。残念。外れて憤り



聖火リレーは東海道を箱根～藤沢へ走る！二宮だけ走らず



露木 佳代
無所属

問

- ① 地震後の業務継続計画は
- ② 公共施設予約システムの導入

答

- ① 今年度、実効性ある計画に改定
- ② 課題は把握、改善を進める

業務継続計画について

Q 発災後の電源量や燃料確保等の見込みが国の示す基準以下。資源の少ない二宮では民間との協定や、例えば建物の危険度判定の協定を結ぶ町内の土地家屋調査士の方など協力者と顔をつなげることが重要だと考えるが。

A 非常用発電機、燃料などの必要量の確認、協定に伴う燃料の確実な確保策など、より具体的に検討する必要がある。協力者とは関係作りをしたい。

Q 職員一人ひとりに防災意識がなければ災害対応は不可。各課での非常時優先業務の精査、PC等の必要設備や電源量などの詳細な洗い出し、他課との連

Q 公共施設の予約システムについて

A 空き状況の表示方法や、予約時に無駄な画面が複数出るなど改善点が多々ある。予約・抽選時期が施設ごとに異なるのも分かりづらい。HPの表記も導入前のままである。

Q 複数のシステムを



公共施設予約システムはこちら
PC・タブレット用 スマホ用
PC・タブレット用はスマホ用より使いやすい

常任委員会と庁舎特別委員会の報告

総務建設経済常任委員会 吾妻山をもっと素敵に

研究テーマは「吾妻山公園の活性化について」。吾妻山公園に訪れる観光客は、足腰が丈夫で、体力のある方に限られる。しかし、車両の乗り入れ範囲を広げることで公園へのアクセスは改善され、併せて吾妻神社や公園内施設の紹介を積極的に行うことで、菜の花ウォッチング以外の時にも幅広い層の観光客が訪れるようになると考えられる。現地調査後、課題を集約した。

- ①外部の人が情報発信しやすい環境づくり
- ②頂上からの景観を守るため樹木を整備
- ③中里口から頂上までの繁茂している草木の整備と道の拡幅
- ④カートのような小さな車で頂上まで送迎する共生社会への対応。

今後も産業振興の推進として「観光資源である吾妻山公園の活性化」につながる調査研究を続けていく。



山頂からの景色
空、海、富士山
昔はもっと見えたのに…

教育福祉常任委員会 誰もが「行きたいところへ行ける」喜びを

「子どもから高齢者まで移動が困難な町民の生活を支える仕組み」をテーマに、有償福祉運送を行っているNPO法人理事長から現在の移動支援の状況について何う等、勉強会を重ね調査研究している。

加齢や障がいによる移動困難は、買い物や催しへの参加など日常生活を想定。程度は歩行困難～自家用車の運転不可能なレベルまで幅広く、研究と施策化は以下をイメージしながら整理。移動支援は「健康づくり」の一環としても位置付けられる。

- ①車両を使う移動（外出）支援
- ②公共交通の使用についての財政支援
- ③バリアフリー化など歩行・電動カート等の利用環境整備
- ④近隣で買い物が進められる等（移動販売等）の環境整備

最終的な提言は、福祉運送を実施する事業者への支援や、移動の障壁となっている生活インフラのチェックなどが考えられ、移動支援を直接担うことは困難と考えている。引続き、他自治体の視察等も行い、二宮町らしい支援のあり方を調査研究していく。



役場新庁舎建設特別委員会

新庁舎建設の基本設計は否決、委員会は廃止

3月以降、特別委員会6回、勉強会6回を開催。6月議会の「新庁舎基本設計委託料」否決を受け、委員間で話し合いを進めてきたが、今後の調査事項について合意点を見いだせず、当委員会の廃止を決めた。委員会最終日（8/27）は以下のような意見が出された。

基本構想・基本計画（案）に対して出た意見

- 基本設計委託料が否決となったことで「計画（案）自体が否決された」という意見と「計画（案）自体の議決はされないため、基本設計委託料が否決されても計画（案）は消滅していない」という意見に分かれた。
- 賛成議員の中には「計画（案）を現時点で判断することはできず、予算や詳細を明確にするために次の設計に進めたい」という意見もあった。

委員会の今後に対して出た意見

- 町はこれまでと違う案を出してくる可能性があり、必要があれば再度特別委員会を立ち上げれば良い。
- 議会全体では賛否拮抗しているにも関わらず、委員の8名のうち促進したい委員が少数で議論が進まない。いったん廃止で良い。
- 休止はやむを得なくとも廃止せず、目的を変え、委員を入れ替えて調査研究すべき。

え!? もう新年度予算!?

実はそろそろ予算の時期!

私たち議会は、皆さんともっと身近になるため、こんなことを考えています。

一般質問の日程を増やしたい!

3月と9月は予算・決算審査が4~5日間、総括質疑が1日あります。会期の事情もあり、一般質問は1日です。議員は14名いるため、日程の関係で議員が質問できない事態を招いたことが何度かありました。そこで日程を増やせるよう検討を始めました。

要求事項: 手話通訳報酬、テレビ放映委託料、会議録反訳委託料

総括質疑や一般質問をインターネットで配信したい!

議会は、総括や一般質問、補正予算審査などを湘南ケーブルテレビで生放送しています。当日19時からは再放送もありますが、ケーブルテレビ未加入の方や、働いている方は観ることができないという声も多く聞きます。町の課題や、議会での問題は、皆さまに知っていただきたいことです。議会をいつでもインターネット(YouTubeなど)で視聴できるように検討しています。

要求事項: テレビ放送用データをインターネット用へ変換

総括質疑に手話通訳を導入したい!

一般質問のみ手話通訳を導入していますが、聴覚障がい者のかたがたの権利を保障するため総括質疑にも手話通訳の導入を要望します。

要求事項: 手話通訳

予算はどんなふうに進んでいくの?

町では、次年度の予算編成を8~9月頃に行い、事業ごとのすべての予算項目を10月中に財務課に提出します。11月頃から財務課による1次査定が行われ、12~1月初旬にかけて町長による2次査定があります。1月末には予算の内示があり、案が作られ、2月10日頃には議会へ上程、3月の議決にて可否が決定します。



その他、シェアにのみやのチラシのカラー印刷代や、議場内に設置しているスクリーン更新等も検討中です。



11月8・9日の2日間!! シェアにのみや

意見交換テーマ「どうする!? 買い物と移動」「その他、気になること」

1 日時: 11月8日(金)
19時00分~20時50分
場所: 山西防災コミュニティセンター

2 日時: 11月9日(土)
13時30分~15時30分
場所: ラディアン展示ギャラリー

※ラディアン展示ギャラリーでは資料の展示をします(9日の10時00分~15時30分まで)

編集後記

支援者に「議会だより読んでる?」と聞いたら「あんなのすぐにゴミ箱行きだよ」と言われたと苦笑したのは、ある議会だより編集委員の話。

喧々諤々議論を交わして作ったものが「ゴミ箱行き」とは残念。まだまだ皆さまに読みたいと思っていただけではない証拠ですね。

以前もお伝えしたように、二宮町の議会だよりが他の自治体と大きく違うのは、原稿執筆だけでなく、表紙や中身の構成を考え、雑誌などを参考にしながらレイアウトをし、撮影などもすべて編集委員が行うこと。そのため、委員構成が変わると議会だより自体の雰囲気も変わります。

改選からはや1年。ここで、だより編集委員も何人か交代となります。

これまで以上に議会でのできごとや町の課題、議員一人ひとりの考えが分かるような誌面作りを心掛け、皆さまが議会だよりの発行を楽しみにしてくださるよう、次期委員への引き継ぎをしっかりと行い、研究を続けていきます。(露木)

◎議会だより編集委員

委員長
副委員長
委員

露木 佳代
羽根 かほる
松崎 節子
二宮 俊雄
杉崎 ゆき子
根岸 ゆき子

